日本共産党 新宿区議団ニュース
2026年7月号 ▶区議会第2回定例会報告

ご意見・ご要望をお寄せください。
メール：info@jcp-shinjuku.com
日本共産党新宿区議団 検索
発行：日本共産党 新宿区議団
住所:新宿区歌舞伎町1-4-1-5F
TEL:03-5273-3551 FAX:03-3200-1474

学校給食の次は 修学旅行・学用品の無償化を

日本共産党区議団は、区立学校の修学旅行と学用品を無償化するため条例提案しました。

23区で広がっています

23区では、修学旅行は12区が無償化（予定含む）、4区が一部助成しており、ドリルなどの学用品は11区（1区は小学校のみ）が無償化しており、23区で着実に広がっています。

今年度から国が公立小学校の学校給食無償化のために半額補助するため、3億9千万円が新宿区に入ります。修学旅行と学用品の無償化にかかる予算は約3億円であり、実施は十分可能です。

23区の修学旅行無償化実施状況

※12区が無償化（予定含む）、4区が一部助成。

23区の学用品無償化実施状況

※杉並区は小学校のみ

6会派が反対

6月19日の本会議で賛成したのは共産、れいわ。反対したのは、自・参ク、公明、新宿会（国民・都ファ・無所属）、民無ク、維新、現役世代・減税の会6会派で、残念ながら成立しませんでした。

諦めずに頑張ります

学校給食無償化など、日本共産党が繰り返し提案することによって世論が広がり、区民の要望が実現してきました。今後も諦めずに頑張ります。

賛成	日本共産党 れいわ新選組
反対	自民・参政クラブ（自民党、参政党） 公明党 新宿未来の会（国民民主党、都民ファーストの会） 立憲民主党・無所属クラブ 日本維新の会 現役世代に優しい新宿・減税の会

物価高騰 資材不足

"お金がない"といいながら、なぜ新庁舎?!

500億円どころでは済まない

区は今年度から本庁舎整備のための基金積み立てを開始し、新庁舎建設を規定路線としています。3つの候補地を挙げていますが、建設地も決まっていないのに、建設費のみでも最低約500億円と試算しています。建設費高騰の折、この10年で工事単価はすでに2・27倍に上がっています。

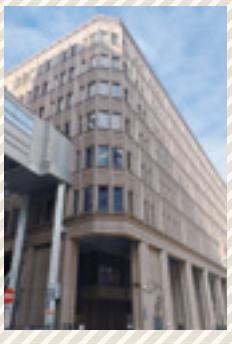
33億円で免震工事済み

当初、区長は本庁舎の老朽化を建て替えの主な理由としていましたが、今年の「新宿区施設白書」では、建築物の建て替えの目安は80年とし、区施設の長寿命化を前提としています。しかも、現庁舎（築60年）は2015年に約33億円かけて免震改修を施し頑丈なので、適切なメンテナンスで今後も長く使用できます。

狭さは解決出来る

区長は、庁舎の分散化や狭隘化（スペース不足）が課題だとも言っていますが、そもそも区はデジタル化の推進で「行かない区役所」「書かない区役所」を目指しています。スペース不足の問題も、間もなく吉本興業への賃貸契約が満了となる旧四谷第五小学校などの既存施設を活用すれば解決できます。

区長はあくまで新庁舎を建設する姿勢を崩しませんが、建設地も定まっておらず、建設費の高騰も続いている下で新庁舎ありきの姿勢は改めるべきです。



杉山直子　高月まな　藤原たけき　佐藤佳一　川村のりあき　近藤なつ子　沢田あゆみ